

■□海外展開手法(製造業)について■□

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

8 月は、悲しい出来事がありました。

17 日と 18 日、バンコク都心の観光名所「エラワン廟」とチャオプラヤー川のサトーン船着場の水路の 2 箇所で連続爆弾テロ事件が発生しました。17 日のエラワン廟の爆発では、邦人 1 人を含む約 150 名の死傷者が出てしまいました。爆発現場は当拠点から西に 2.5 キロほどにあり、私も度々足を運んだ事のある場所です。光景が目には浮かぶような知っている場所でこのような事件が起きた事はやはりとても不安になります。また、観光や進出への悪影響も予想されます。早期の解決を願っております。

今回は、取引形態に注目して海外展開手法（製造業）について記載させていただきます。

【製造業の取引形態について】

製造業における取引形態では、大きく「輸出」と「現地生産」の 2 つに分類する事が出来ます。

●輸出

国内の商社等を通じて海外の商社や貿易会社ないしは海外のメーカー、販売店と取引する「間接貿易」と、商社等に輸出業務を委託せず、直接自らが貿易実務を行う「直接貿易」の 2 つに分けられます。輸出した自社製品を海外に販売するために、海外企業との代理店（Agent）または販売店（Distributor）契約を行い展開する「代理店・販売店取引」を採用している企業も多くあります。この代理店・販売店取引の長所・短所を下記まとめます。

長所
不慣れな海外での販路開拓は困難を伴うが、代理店・販売店のネットワークを活用することにより、展開スピードを早め、展開地域を広げることができる
短所
価格や販売方法が代理店・販売店任せとなり、品質管理、価格管理が難しくなる 信頼できるパートナー探しに手間がかかる

メンテナンスや修理対応を含め、現地の代理店に任せているだけでは、既存顧客のサービス提供が不十分である事から、駐在員事務所を設立し代理店フォローを行う企業もあります。

●現地生産

進出国の自社工場で製品を製造する「自社生産」と、自社ではなく進出国の他の企業に委託して生産する「委託生産」の2つに分類できます。

・自社生産

長所
製造ノウハウが内部に蓄積される、柔軟な対応が可能
短所
多大な設備投資が必要

・委託生産

長所
多大な設備投資が不要、供給側の優れた製品を自社の製品として販売できる
短所
製造ノウハウが内部に蓄積されず、技術やノウハウが流出する可能性がある 内製に比べて柔軟な対応への融通がききにくい

委託生産先の管理や柔軟な対応を行うために、現地にて販売会社を設立している企業もあります。

なお、国や製造品目によっては、自社生産の1つの分類として製品の主要部品を日本から輸出して、現地で組み立て、生産を行う「半製品輸出による海外現地生産（ノックダウン生産）」もあります。

☆☆タイから便り☆☆

～タイの女性進出と定年・退職金～

タイは、女性の社会進出が進んでいて、軍事政権前の首相は女性でした。タイの経済成長や在タイ日系企業を支えているのはタイ人女性といっても過言ではありません。当社の副社長の家庭でも、当然のように共働きです。生活のためではなく、女性が働くのが（社会進出するのが）当然といった考えなのだと感じています。

また、タイには、法定定年制がありません。一定の年齢に達した従業員に引退して欲しいと考える企業は就業規則に定年を明記し、従業員の署名をもらう必要があります。そして、定年がないため、退職金也没有ありません。会社が定めた定年は、労務上は会社都合で勝手に決めた定年制であるため定年の日が来た際には、「会社都合による解雇の際の解雇手当」が必要になります。なお、上記の解雇手当は、従業員の在籍年数によって法律で定められています。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当：藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D,Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2012	2013	2014	2015
GDP 成長率	前年比ベ(%)	7.3	2.80	0.9	2.9(1-6月)
人口*	千人	68,035	68,382	67,065	67,164(5月)
労働者の数*	千人	39,821	39,808	38,963	38,708(6月)
失業率**	%	0.66	0.72	0.84	0.91(6月)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	300	300	300	300
チョンブリー		273	300	300	300
アユタヤー		265	300	300	300
ラヨーン		264	300	300	300
賃金:全国製造業の平均	パーツ	10,159	11,066	12,074	12,222(6月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	3.00	2.19	1.90	▲0.81(6月)
中央銀行政策金利*	%	2.75	2.25	2.00	1.50(7月)
普通貯金率**	%	0.75	0.68	0.59	0.62(7月)
ローン金利(MLR) **	%	7.29	7.16	6.96	6.80(7月)
SET 指数*	1975年:100	1,391.93	1,298.7	1,497.7	1,440.1(7月)
パーツ/100円**	パーツ	38.98	31.53	30.77	27.49(7月)
パーツ/米ドル**	パーツ	31.08	30.73	32.48	33.15(7月)
円/米ドル**	円	79.79	97.6	105.84	120.7(7月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,428,628	1,337,631	884,346	383,938(6月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,262	2,016	1,662	1,254(1-6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	983.9	1,027.3	729.4	412.7(1-6月)

*期末、**平均